

総合舞台



今年度の総合舞台は、3月5日(日)にコラニー文化ホール・大ホールで盛大に開催されました。

「夜渡るつばさ」は、渡り鳥をモチーフに、その姿を通して夢や希望、絆などを見出す内容で、様々な部門の芸術家や次世代を担う若手たちが、優美な舞や歌声などを表現豊かに繰り広げ、会場を魅了しました。

出演者、スタッフ併せて総勢100名を優に超える方々が、準備や練習を重ねたこの作品は、子どもから大人まで誰もが親しみを持てる内容で、来場した県民の皆様をはじめ、作品作りに関わった方々全てに感動を与えました。

フィナーレのカーテンコールでは来場者、出演者、スタッフともに惜しめない拍手を送りあい、今年度の総合舞台は幕を閉じました。



- スタッフ 脚本・演出：千頭和直輝／音楽監督：足達勝子／作曲：中島睦明／指揮：七澤秀人／振付：花柳彩三郎、成澤千香子、中澤緑／舞台監督：平沢元彦（キープ総合舞台）／舞台監督補佐：山口善彦／照明：高松公男（キープ総合舞台）／音響：若尾さとる（キープ総合舞台）／映像：新保瑛加／大道具・小道具：大竹誠、小澤信也、中村健吉／衣裳：中込美知子、成澤千香子、中澤緑、沖田真澄（製作）
- 総合舞台専門委員 委員長：足達勝子／副委員長：花柳彩三郎／事務局長：郷晃輔／委員：植松直希、河野通方、高原國佐、中込美知子、中澤緑、中田一勢、七澤秀人、永田京子、成澤千香子、渡辺公男、渡辺政幸／事務局：山梨県生涯学習文化課
- 朗読 指導：永田京子／DJ：山口貴久子（Good Sun）、進藤久宇（山梨英和高校放送部OG）／語り（影ナレーション）：田草川絵美（山梨英和大学人間文化学部）
- 音楽 指導：七澤秀人／［オーケストラ］（山梨交響楽団、南アルプス桃源交響楽団）Vn1：長野まゆみ、坂田成子、大竹あかね／Vn2：和田政一、長澤純子／Vla：大竹和恵、河野吉久／Vc：内藤睦雄、北川久美子／Cb：坂本齊／Fl：本多世里香／Ob：武井志織／Cl：上野雅子／Fg：松下浩一／Hr：堀内夏希／Perc：小幡千枝、保坂幸雄、岡田美代子
- 演劇 指導：渡辺政幸／トチの父：小林忠樹（フリー）／トチの母：原田直美（フリー）／ミズメの父：村松玲一（劇団やまなみ）／ミズメの母：花奈美咲（フリー）／ウミネコ：佐藤真佐美（フリー）／ノグチゲラ：深沢憲治（フリー）／ウグイス：清水陽平（劇団やまなみ）
- 邦楽 箏 替手：雨宮祐子、今井禮子／箏 本手：田中かほる、岡部圭子、内藤亨子／尺八：河村操晃輔
- 合唱 指導：渡辺公男／ソプラノ：松本三佳、丹沢章子、松野早苗（カンターレみなみ）、小田まゆみ（富士吉田市民合唱団）、佐々木玲夏（山梨大学合唱団）／アルト：丸山記代子、末木真子、菊田美花（カンターレみなみ）、手塚喜久子（富士吉田市民合唱団）、西村芹菜（山梨大学合唱団）／テノール：竜沢経一（カンターレみなみ）、河合祐明、藤田貴紀、田中綜司（山梨大学合唱団）／ベース：小田隆之（富士吉田市民合唱団）、遠藤貴寛、井町智哉、杉野斗哉（山梨大学合唱団）
- 洋舞 振付・指導：成澤千香子（若尾バレエ学園）／オオワシ・サンバ：寺田麻里／ミズメ：石原湧／トチ：大森葉月／スグリ：武石朱香／ネム：堀内まりか／コチドリ：深澤理心、成澤香菜子、鈴木日和、三枝姫葉
- 吟剣詩舞 指導：高原國佐（山梨県吟剣詩舞道総連盟）／ミズメ：田草川博子／ウミネコ：佐野むつみ
- 民謡民舞 振付・指導：中澤緑（山梨県民謡舞踊連盟）／ノグチゲラ：中澤緑、大柴ゆかり、伊東竹代、矢崎み子、窪田ゆかり、秋山洋子、和田美都里、山本玲央奈
- 太鼓 指導：飛田邦秀（天野宣音楽事務所）／能管 鉦：飛田邦秀／丸胴 効果音：内藤晴久／締太鼓：濱久保佑菜／丸胴：小泉郁弥／ノグチゲラ：中込晴美、深澤諭、沖田真澄
- 日舞 振付・指導：花柳彩三郎／空の情景・ウグイス：花柳彩志津、花柳彩紗奈（花柳彩三郎社中）

総合展示



今年度の総合展示は、引き続き県立図書館のイベントスペースで開催しました。美術・書道・写真・華道・フラワーデザイン・ハンドクラフト、各分野の最前線で活躍する県内アーティストの作品が一堂に会しました。個々の作品の素晴らしさはもちろんのこと、一度に様々なジャンルの作品を鑑賞できると、来場者からも大変ご好評をいただきました。

部門	分類	合計点数
美術	油彩16点、ミクストメディア1点、	29点
	水彩3点、版画2点、日本画1点、	
	水墨墨彩1点、彫刻2点、染色1点、	
	スペースアート1点、陶芸1点	
書道	漢字14点、小字数5点、調和体2点、 かな2点	23点
写真		22点
華道		5流派
フラワーデザイン		9点
ハンドクラフト		17点
出品合計		105点
来場者数		1,205名



合唱フェスティバル 2016

8月27日(土) 12:50開場、13:00開演

8月28日(日) 9:15開場、9:50開演

東京エレクトロン荊崎文化ホール

開催状況

16回目となる県民文化祭合唱フェスティバルは、2日とも大変実りのあるステージでした。子どもからお年寄りまで、幅広い年齢層の観客が集い、見事な発表に盛大な拍手をおくって会場がわきたちました。

講師に第一線で活躍されている、合唱指導者の浜田正子先生と樋本英一先生、声楽家の多田羅迪夫先生をお呼びしてご指導をいただきました。47団体の演奏を熱心に聴いてくださり、講評用紙に指導助言を書いていただきました。適格な助言は、各参加団体の合唱団の技術向上に大変役立てることができました。発声面や技術面のこと、曲想表現のこと、曲の解釈についてなど多くのことを教えていただきました。私たちが合唱をする意義は「聴いている人に感動を与え、メッセージを伝えることである。」と合唱の神髄を再確認させていただきました。また、閉会式では、わかりやすく講評をお話していただきました。「生涯にわたり、歌うことの喜びを感じ、合唱を愛してください。山梨の合唱は素晴らしいです。」との励ましのお言葉もいただき、各団体ともに向上心が芽生えたと思います。

山梨県の合唱のレベルがだんだんと上がっていているのは、この合唱フェスティバルを通して、他団体と共に切磋琢磨する場があるからだと思えます。

県民の文化祭は、世代を超えた人々の合唱の楽しい交流と合唱技術の向上の両輪を回していく貴重な場だと思います。今後もこの文化祭を通して、さらに大きな合唱の輪が広がっていければよいと思います。また、都留文科大学合唱団は昨年に引き続き、全国大会に勝ち進み、全国においてもトップクラスの演奏を披露することができました。

このような名誉ある賞が山梨県から輩出できたことも、16回を重ねたこのフェスティバルの成果といえます。山梨県の合唱活動にご協力いただいた皆さまに感謝いたします。今後ともよろしく願いたします。

・コンクール部門

中学の部 混声 (3 団体) ……	121名
同声 (4 団体) ……	70名
高校の部 A 部門 (15 団体) ……	254名
B 部門 (1 団体) ……	42名
大学・ユースの部 (2 団体) ……	75名
室内合唱の部 (4 団体) ……	65名
・フェスティバル部門 (18 団体) ……	390名
出演者総計 ……	1,017名 (47 団体)
入場者数 ……	1,011名



音楽祭

9月22日(木・祝) 12:30開場、13:00開演
 コラニー文化ホール・小ホール

(プレオーディション (ピアノのみ)
 7月30日(土) 南アルプス市カナリアホール
 オーディション
 8月21日(日) コラニー文化ホール・小ホール)

ジュニアコンサート

平成29年1月14日(土) 13:30開場、14:00開演
 甲斐市双葉ふれあい文化館

開催状況

幼児から大人まで幅広い年齢層で、様々な楽器演奏者が競演する音楽祭は高レベルの演奏会でした。幼児を加えたピアノに関してはプレオーディションから他の楽器を加えたオーディションを経ての音楽祭へのステージとなり、特に小学生においてはテクニック、曲想表現等々に確実の進歩を確認しました。この様に演奏のレベルが年々上がっているのは、音楽祭を通して日々の精進の賜と強く思い、この場が演奏技術の向上において果たす役割の重要性を改めて認識しました。

県民音楽祭は今後も、山梨における音楽文化の向上の為、継続して行ければ良いと思います。尚、本音楽祭において文化祭賞はピアノ大立目健太さん(大3)、準文化祭賞にピアノ魚田愛音さん(小4)、優秀賞ピアノ阪田紀乃さん(高2)、声楽守本詩織さん(大2)が受賞しました。他に伴奏者として優秀な演奏をした共演者賞にピアノ鈴木麻希さん、又定められた賞からはもれてしまいましたが、将来を期待できる良い演奏をした小学5年生のヴァイオリン矢崎詩乃さんに審査員賞を差し上げ小さい参加者達への励ましと致しました。特別演奏にはテノール新海康仁氏、ピアノ梅原圭氏に演奏して頂き、プロの演奏に盛大な拍手をいただく中で終了致しました。

参加促進事業としては「ジュニアコンサート」を甲斐市双葉ふれあい文化館において開催しました。過去に音楽祭に出演した人の中から専門委員の推薦によって選ばれた小学生、中学生、高校生による演奏者で、ピアノ、ヴァイオリン、マリンバ、チェロ、テノールと各楽器において高レベルの演奏が行われ意義のある演奏会を行う事が出来ました。

来年度に向け、さらなる内容の充実向上発展に努めて参りたいと思います。

〔音楽祭〕

応募者総数.....87名

・プレオーディション

参加者数(ピアノのみ).....69名

・オーディション

参加者数...45名(プレ合格者30名を含む)

・音楽祭

第1部出演者数.....16名

第2部出演者数.....2名

・入場者数.....300名

〔ジュニアコンサート〕

・出演者数.....10名

・入場者数.....300名



写真展

11月11日(金)～18日(金) 9:00～17:00
 (初日は13:00～ 最終日は15:30まで)
 山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B

写真家 織作峰子 講演会『ワンランクアップ写真撮影のヒント』

11月12日(土) 10:30～12:00
 山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B、講堂

開催状況

写真部門は、4月28日に最初の役員会、その後3回の会議を開き、諸準備に万全を期した。

写真展は例年どおり8月31日締切で作品募集し、昨年度並みの応募者数・応募作品数があった。種別の応募数等の傾向は例年と同様であった。中学生については、平成24年度以降応募者数が100前後で推移しており、それより前の応募者の2倍ほどの数字となっている。これは学校単位（主に高校）での熱心な指導があった成果と思われる。

今年度は新たな取り組みをいくつか実施した。1つめは展示レイアウトの変更で、従来、受賞作品も含めて種別の展示としていたところ、受賞作品を一覧できる展示とし、好評であった。2つめは、表彰式に県民文化祭受賞者あいさつを取り入れたことで、表彰式の中で、作品づくりの経過や作品に対する思いが披露された。今年度の祭賞受賞者 白鳥氏は、一年掛かりの計画をたて、時間をかけ、工夫を凝らして作品づくりに取り組んだとのことであった。

加えて、審査を依頼した織作峰子氏の講演会を写真展会期中に計画した。講演会は、県民文化祭参加促進事として午前中に高校生を中心としたギャラリートークと講演会を、午後は県芸術文化協会の事業で、県写真団体連絡協議会会員を中心とした中・上級者向けのギャラリートークと講演会を実施した。いずれも講演会の後、活発な質問が出るなど、充実したものとなった。また、県芸術文化協会の事業では、講師の作品を借用し、県文祭写真展会場に展示することができ、効果的であった。

○写真展

応募点数

モノクロ単写真の部	68点
カラー単写真の部	328点
組写真の部	63点
中高生の部	294点
合計	753点

出品者数	190名
入場者数	1,154名

○写真家 織作峰子 講演会

参加者数	38名
------	-----



邦楽部門公演会

10月16日(日) 9:30開場、10:00開演
コラニー文化ホール・小ホール

こと

みんなで楽しくお箏を弾いてみよう

- ① 8月6日(土) 10:00~12:00
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ② 8月20日(土) 14:00~16:00
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ③ 9月17日(土) 10:00~12:00
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ④ 9月24日(土) 14:00~16:00
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ⑤ 10月2日(日) 14:00~16:00
山梨県立男女共同参画推進センター (びゅあ総合)
- ⑥ 10月16日(日) 13:00~13:10
コラニー文化ホール・小ホール

開催状況

平成28年7月の公募に、27団体の参加をいただきました。

近年の制作の曲、明治新曲、そして江戸時代から伝承されている古典、尺八本曲、長唄等、多量の曲目が出演されました。三味線音楽や箏曲、尺八、長唄などの伝統音楽は生活様式の変化、学校教育の少なさ等により、日常的に聴く機会が皆無となっています。寧ろ、寧ろといえ正月の音楽と勘違いされ同じ曲がコマーシャル、バックグラウンド音楽として使われています。複雑な気持ちです。

伝統音楽・日本の民謡楽器・伝承音楽を学ぼうとする若い人達が減って、次世代に日本の伝統が“レジェンド”として伝承されるのが危惧されています。

しかしながら、この公演会の様に、多量のグループが参加し、発表されていることに一つの勇気を与えられます。一層の精進が求められるところです。

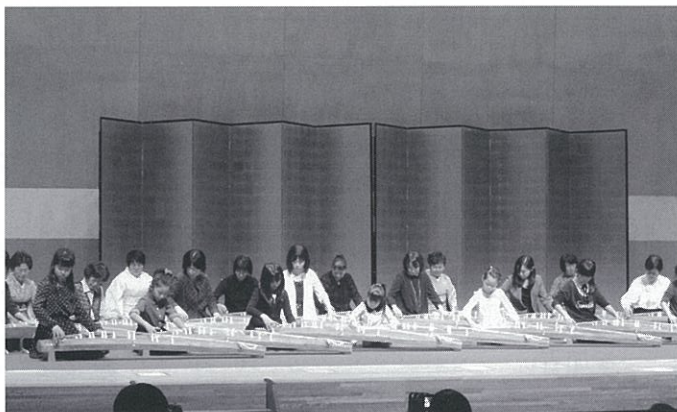
出品された曲は、決して過去の音楽ではありません。古典音楽・伝統音楽として、現在でも多くの方に愛され、広く普及している生きている音楽です。日本人特有の感性に支えられた作品なのです。

現代においても創作活動は行われ、諸外国から注目されています。

このような状況下、参加促進事業として、8月の学校の夏休みには「日本の伝統楽器 お箏でたのしい合奏」を企画し、親子で体験学習をしていただき、当演奏会で発表できました。少ない練習日程でしたが、マンツーマンの指導で、皆さん大変上手にできました。ぜひ、継続して、次のステップジャンプと進んでいただきたいと思っております。

東京オリンピック・パラリンピックでは外国の人々に日本の音響と日本の伝統の音楽でおもてなしをしたいものだと思います。

平成28年の邦楽公演会を基にさらに一層の精進を重ね、日本のレジェンド「三曲」長唄「尺八楽」を次世代に伝えたいと思っております。



○邦楽部門公演会

出演団体.....27団体

出演者数.....244名

入場者数.....500名

○みんなで楽しくお箏を弾いてみよう

指導者数.....14名

参加者数.....16名

大茶会

10月9日(日) 10:00~15:30
山梨県立男女共同参画推進センター (ぴゅあ総合)

茶道体験教室

12月4日(日) 10:00~16:00
素心菴 (芸術の森公園茶室)

開催状況

・大茶会

第16回やまなし県民文化祭大茶会が平成28年10月9日(日) (午前10時~午後3時30分まで) 山梨県立男女共同参画推進センターに於いて開催されました。

参加団体は、裏千家、表千家、江戸千家、有楽流、大日本茶道学会、煎茶道の六流派の各々がおもてなしの心をもってお茶席をご用意してお客様をお迎え致しました。

昨年同様朝方は雨でしたが、次第に晴れ渡り絶好の茶会日和となり、2,500名を越す大勢のお客様を迎え、あの広い会館にあふれる程の盛会ぶりでした。

窓外の紅葉も一段と色を添え笑顔いっぱいの中で無事茶会を終了する事が出来ました。

・茶道体験教室

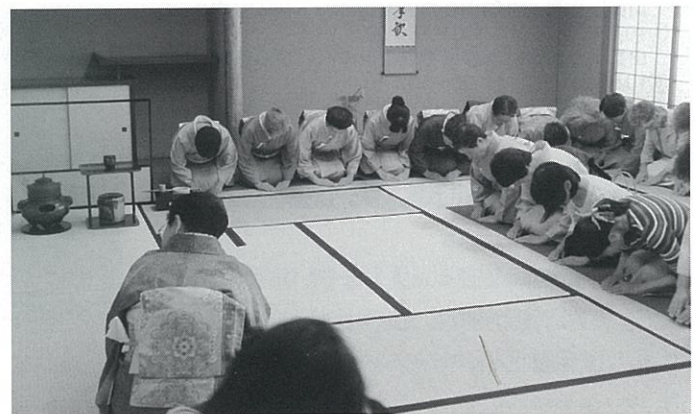
第9回茶道体験教室が平成28年12月4日(日) (午前10時~午後4時まで) 素心菴 (芸術の森公園茶室) に於いて開催されました。

今年の担当は江戸千家の8名の指導者のメンバーです。

体験者は100名で、1時間20名ずつ5回にわたり指導が行われました。

内容は、茶席の入り方、床の間の拝見の仕方、立ち方、座り方、客のなり方、お茶の点て方、運び方、お茶の頂き方等を楽しく学び、それぞれ満足気な様子で充実感を味わって頂きました。

これを契機にお茶を習いたいという方もいらしたと聞いております。今年は特に親子の参加者が多く見られました。



○大茶会

参加流派

裏千家、表千家、江戸千家、有楽流、大日本茶道学会、煎茶道

関係者・スタッフ数…………… 200名

来場者数…………… 2,500名

○茶道体験教室

指導者…………… 8名

参加者…………… 100名

美術展

11月4日(金)～10日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)
山梨県立美術館・県民ギャラリーA・B・C

わくわく美術館～見てわくわく、つくってわくわく～

11月5日(土) 13:30～16:30
山梨県立美術館・ワークショップ室

開催状況

第16回やまなし県民文化祭・美術展は、11月4日(金)から11月10日(日)〔7日(日)休館日〕、山梨県立美術館県民ギャラリーA・B・Cで開催した。平面(油彩、日本画、水墨墨彩画、水彩、版画など)、立体(彫刻、工芸など)の159点の応募があり、文化祭美術部門の専門委員、審査員38名での公開審査により、116点の入賞・入選が決定した。昨年に比べ、応募作品の数も大幅に増え、大作、力作の揃う中、最高賞の県民文化祭賞に今村照廣さん(中央市)の版画「C-Y3」、準県民文化祭賞に沢井愛子さん(上野原市)の油彩「未来」が選ばれた。最終日10日(日)に表彰式を行い、美術展は終了した。

参加促進事業は、子どもを対象に美術作品の鑑賞方法を学んでもらったあと、自分で自由に作品をつくってもらうワークショップを実施した。

初めて美術館に来たという親子がいて、これをきっかけにもっと美術展を見に来るようにしたいと話していた。

美術作品の鑑賞を楽しむ人材育成につながる効果があった。

○美術展

部門	応募人数	応募点数	入賞・入選点数	招待
・油彩	74	81	59	35
・水彩	40	44	28	4
・版画	6	8	5	4
・日本画	11	11	11	7
・水墨墨彩	1	1	1	1
・彫刻	4	5	4	7
・工芸	8	9	8	10
・複合立体	0	0	0	2
計	144	159	116	70

陳列総点数 186点

(入賞・入選116点、招待70点)

入場者数 1,216名

○わくわく美術館～見てわくわく、つくってわくわく～

講師：保坂博司【画家(油彩)】

参加者数 12名

